

令和2年度事業報告書概要（お台場海浜公園外11公園）

指定管理者：東京臨海副都心グループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・お台場海浜公園の便所清掃

新型コロナウイルス感染拡大防止やオリンピック会場への関心の高まりなどから、毎日の衛生器具等の清掃を実施するとともに巡回により汚れを発見した際は即座に清掃を行いました。

・シンボルプロムナード公園の便所清掃

土日祝日については利用者の増加が見込まれることから、特に利用頻度の高い4か所の便所について、1日2回の衛生器具清掃を実施しました。

・シンボルプロムナード公園の緑地管理

芝刈り・草刈り等の植込み地管理作業を、該当箇所の利用用途や植物の生育状況に応じて実施しました。基準以上の回数を実施し、維持管理に努めることで来園者にいつでも快適に過ごせる空間を提供しました。また、コロナ禍におけるイベント（踏圧）の減少により、インターロッキングの隙間から草が生えているとの情報を入手し、迅速な除草作業を実施しました。その対応がツイッターで話題となり、お客様から感謝のお言葉をいただきました。

・お台場海浜公園の樹木剪定

安全性と快適性の向上及び東京2020大会延期に伴う再開放や本大会実施に向けて、本大会整備工事で支障となる樹木を組織委員会、工事業者等と協力して2日にかけて全て調査し、樹木の育成や樹形に支障が出ないように剪定方法等を協議し、適切に実施しました。

・お台場海浜公園等における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組

釣りやお花見の利用について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、張り紙や巡回で丁寧に自粛のお願いを実施しました。

○ 安全性の確保

・公園における防災訓練の実施

発災時に、迅速かつ適切に対応できるよう、新たに一時滞在施設訓練を訓練内容に加えて実施しました。災害発生から避難誘導、情報伝達、施設点検、一時滞在施設訓練を一連の流れで実施したことにより、発災後における動きを公園スタッフで共有することができました。また、発災時の情報伝達班や避難誘導班など役割を固定せずに各役割の訓練を参加者全員で実施し、スタッフがどの役割でも適切に動けるようになったことで、利用者の安全を確保する体制を整えることができました。

・樹木剪定による照度改善

利用の多い園路や広場近くにおける日中の照度の薄暗い場所を無くし、植物の健全な生育環境を整えるとともに、安全・安心な利用空間を提供しました。

2 事業効果

○ 事業の取組

・シンボルプロムナード公園の「花と緑のおもてなしプロジェクト」

造園・花き園芸団体、近隣企業や学生との協働に加え、新たに有明こども園の園児150名が参加し、四季を通じて花で彩る「おもてなしガーデン」を制作展示しました。サマーガーデン制作では、2015年からの4年間で選定した優秀品種を使用するとともに、東京2020大会の準備に向け、和の雰囲気強調のための信楽焼を使用した大型盆栽2基の追加設置や陶板の300枚の追加設置、立体花壇としてのフラワーメリーゴーランドの4基増設など、地域や業界の活性化にも取り組むとともに、公園の魅力向上に貢献し新規来園者の獲得に繋がりました。



<大型盆栽>



<フラワーメリーゴーランド>

・シンボルプロムナード公園花の広場の修景

世界におけるガーデンデザインの潮流となっている、宿根草を主体としたナチュラルスティックガーデンを都内最大級の面積で整備し、臨海地区の新たな修景スポットとして公園の魅力アップに繋がりました。



<ナチュラルスティックガーデン>

・臨海副都心マップの更新・充実

臨海副都心の回遊性を高めるため、各公園の見どころ等を掲載した臨海副都心エリアマップに9月に開業した東京国際クルーズターミナルやシンボルプロムナード公園の花の広場など新たなスポットの特集情報を追加し、内容を充実させました。また、マップ面は、東京2020大会延期に伴い公園の閉鎖や再開が続いたため、お客様が混乱しないよう規制等の情報が常に最新となるよう、エリアマップの更新に努め、園内の情報を的確に伝えました。

○ 利用の状況

・お台場海浜公園

東京2020大会延期や新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、お台場海浜公園でのイベントが全日本トライアスロン選手権を除いて実施がなかった。また、東京2020大会延期に伴う残置物や、1月からの再設置の影響で、年間を通して、公園の約半分が閉鎖されており、例年になく来園者人数の落ち込みが見られた。さらに、緊急事態宣言が発令されるなど、外出自粛が推奨されていたことや、海外からの渡航が制限されたことなどにより、国内を含む観光客等の来園が大幅な減少に追い打ちをかける結果となった。

○ 行政目的の達成

・東京2020大会への協力（花壇制作）

オリンピックプロムナードの祝祭空間のコンテンツとして、港湾局より委託された花修景事業について、東京2020大会の公式マスコットキャラクターを中心としたデザインで構成する「マスコットガーデン」、アートハウスと連動し既存のおもてなしガーデンと一体となった「アートガーデン」の2種類のガーデンに関して、デザインから一部基盤整備までを実施し、翌年開催に備えました。

・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応

撮影の予約調整では、受付時に参加人数と予約エリアによって密が考えられる場合は、分散するよう調整しました。また、巡回時にはコロナ対策の実施状況を確認したほか、三密が見られた場合は、ソーシャルディスタンスを保つよう随時声掛けを行いました。

感染防止徹底宣言ステッカーの取得等について、本社事務所や管理事務所などの取得を行うとともに、イベント開催時においても主催者に対してステッカーの取得等の感染防止対策を指導し、安全の徹底に努めました。

3 収支状況（単位：千円）		
項目		金額（税込）
収入計		596,298
内訳	指定管理料	596,298
	利用料金	0
支出計		531,902
収支差		64,396

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。